

俵坂関所(俵坂口留守番所)(佐賀県嬉野市)

俵坂関所跡(たわらざかせきしょあと)は、佐賀県嬉野市にある江戸時代の関所。藩の管轄(口留守番所)のため、正しくは「俵坂口留守番所」である。戦国時代にすでに関所としての機能があったと伝えられる。

江戸時代になると長崎街道として佐賀藩、大村藩両藩の藩境の要地となり、特にキリシタンの取り締まりが厳しかった。

敷地面積二百余坪、建物は間口4間(7.2m)奥行き7間(3.6m)の構えで侍1名、足軽9名が監視にあたって、通路には門柱が建てられ、その両脇には竹の柵が巡らされていた。

明治維新を迎え、1871年(明治4年)の廃藩置県によって廃止された。

Wikipediaによる



俵坂関所跡